



## 令和4年度修了式 校長先生の話から

3学期の始業式で2つのお願いをしました。

- ・「ありがとう」の気持ちをもとう、表そう
- ・楽しい3学期に！楽しい学校にするのは自分！

6年生を送る会、感謝の会、そして学期末の学校生活の中で、お世話になった人に対して、ものに対して、心を込めて「ありがとう」の気持ちを伝えたり表したりすることができました。

「ありがとう」の言葉には不思議な力があります。何か腹の立つことがあってイライラしている時でも、だれかの気遣いにふれて「ありがとう」と言えたなら、イライラが少し和らぎ、笑顔になれることがあります。また、落ち込んで悲しい気持ちでいる時にも、だれかの優しさに気付いて「ありがとう」と言えたなら、心の内に前向きな思いがわいてきます。幸せな時でなくても、うれしい時でなくても、どんな顔でも、「ありがとう」と言うことはできるのです。

「ありがとう」は魔法の言葉。「ありがとう」と言われた人だけでなく、言うことのできたその人の心にも前向きな気持ちをもたらす不思議な力があります。

**がっき たの 3学期は楽しかったですか？**

5  
4  
3  
2  
1

3学期が「**楽しかった**」と言える人は、「**ありがとう**」をたくさん言えた人なのかもしれません。

「ありがとう」と言える人はだれかの優しさや親切に気付くことができた人、そして「ありがとう」という魔法の言葉で、相手を笑顔にするだけでなく、自分も笑顔になれ、前向きになれた人だと思います。

浅羽東小の子どもたちはみんな「自分も相手も大切にする子」を目指してきました。ですから、あなたの周りの人はあなたを大切にしてくれていたはずで、皆さんの周りには、優しい人がたくさんいたはずで、クラスの仲間を見渡してみてください。

今年一年、「自分も 相手も 大切にする子」を目指して、一緒に過ごしてきました。年度末は、大きな節目です。自分を振り返り、次の年の自分の目標をしっかりと立ててください。一年間、ありがとうございました。

**「ありがとう」と言っている顔はどれだ**

① ② ③

④ ⑤ ⑥

**「ありがとう」は、魔法のことば**

い ひと 言われた人は、うれしくなる

い ひと 言った人も、笑顔になれる

まほう えがお まえむ 前向きになれる

てれるなあ。しあわせやわ。

2つめのお願いは、3学期を楽しい学期にしてくださいということでした。「学校を楽しむのは自分だ」という話もしました。

では、3学期は楽しかったですか。5点満点で点数をつけてみたら、何点でしょう。

3学期、皆さんが「ありがとう」と言っている姿をたくさん見ました。皆さんの姿を見ながら、「ありがとう」と言っている人は学校が楽しいんだろうなと思いました。

令和4年度202日の教育計画のすべてが明日の卒業式で終わります。保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援に心より感謝申し上げます。

さて、2月24日(金)に第3回学校運営協議会を開催し、以下の令和5年度の学校経営方針が、承認されました。来年度も引き続き、御支援をお願いいたします。

## 令和5年度 浅羽学園 浅羽東小学校の教育

学校教育目標 【こころざしをもち、共によりよく生き抜く たくましい子】

- 「居場所づくり」と「絆づくり」の取組を基盤とし、「任せて認める」指導を通して、子どもたちの自己有用感や自己肯定感を高める教育に努めます。(浅羽学園小中学校共通)

重点目標 【自分も相手も 大切にする子 **～東小の文化をつくる～**】

本質的な目標は継続しつつ、サブ目標として「～東小の文化をつくる～」を追加しました。「自分も 相手も 大切にする子」を目指して全校で教育活動を進めていく中で、周囲からも認められる望ましい習慣や考え方を本校の文化として定着させていくことを目指します。

学校でいう「文化」とは、それぞれの学校において在校生や卒業生、教員らによって培われてきた、学校ごとの特徴を総称するものと考えられます。学校が、それぞれ学校教育目標や重点目標に基づいて運営されていることを考えれば、日々の生活の積み重ねの中で目標に沿ったかたちで学校ごとの特徴、文化が生まれてくるはず です。

本校では、すべての教育活動を学園の教育目標と本校の重点目標「自分も 相手も 大切にする子の育成」を目指して、展開しております。重点目標が2年目を迎える新年度は、自分も相手も大切にして生活する子どもたちの間に定着していく習慣や考え方が「東小の文化」として子どもたちの生活の中で、言動として表れてくることを期待しています。子どもも教師も文化の具体的な中身を意識できれば、それが本校としての自信となり、やがては伝統となり、保護者や地域の皆様にも認められていくと信じています。

本校の文化となりうる習慣や考え方には、様々なものがあると考えられますが、本校児童の実態と課題、子どもたちの願い、保護者の願いから、次の3つを学校全体の重点項目として、目指してまいります。

- ① 相手のことを大切にされた聴き方
- ② 相手の心に届くあいさつ
- ③ いじめ撲滅への挑戦

①の相手を大切にされた聴き方は、学力向上と集団における規範意識の醸成につながります。

②のあいさつは、「相手を大切にしている姿」の具体的な姿の一つです。子どもたちには、人から「愛される人」になってほしいと願っています。あいさつができることや「ありがとう」を言えることは、人から愛され大切にされるための第一歩と言われるとされています。あいさつをすることは、「自分を大切にすること」にもつながっていると考えています。

③のいじめ撲滅は、子どもたち、保護者共通の願いです。「いじめを撲滅したい」という願いを子どもたちと共有し、安心・安全な学校づくりに努めてまいります。

